

正覚寺だより

スジャータ

53

平成25年(2013)

元旦発行

スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に
牛乳で作ったお粥を供養した
インドの女性の名前である

修正会と新年互礼会

高齢者招待祝賀会



境内の灯籠

[住職のつぶやき]

春夏秋冬

～その後の波紋～



[住職のつぶやき]

春夏秋冬

～その後の波紋～

住職／山縣 正紀

(1)

このスジャータなどを書いてきた文章をまとめて、エッセイ集「春夏秋冬」として出版した。法然上人 800 年大遠忌記念として昨年行ったことで、お盆の施餓鬼会（8/15）にお参りに来られた方に差し上げた。

当日、都合が悪くお参りできなかった人でご希望の方には、残部のある限りお送りしますのでご連絡下さい。

(2)

その後、エッセイ集出版のことが中国新聞に紹介され波紋が広がった。無料で差し上げるからか、その反響の大きさに少々驚いた。

記事が載ったのは呉・東広島版だから、そのエリアは限られているはずだが、新聞掲載日の早朝から、送付希望のファックスがひっきりなしに届きだしたのだ。翌日からは、葉書や手紙での申し込みも相次ぎ、本の発送作業に追われることになった。

また、玄関へ直接来られる方もあって、新聞の広報力の大きさを改めて認識したことである。

ファックスや手紙の申し込みには、自己紹介や身の上話など詳しく書かれた丁寧なものも多い。反面、住所、氏名だけ



を記入した応募葉書のような簡単なものも当然ある。

極めつけは、残った年賀葉書での申し込みだ。それも、年頭の言葉やカラフルな絵が印刷されたのを消して、余白を利用した申し込みがあった。これには思わず笑った。世の中は人それぞれ、「中々、やるもんだなあ」と妙に感心させられた。

(3)

一週間もすると岡山、京都、東京などの遠方からも申し込みが舞い込み、口コミの力の大きさも再認識した。

この頃になると、早くも読後の感想などが届くようになった。読者の性別や年齢、人生の経験も多種多様だから当然だけど、関心を寄せられた箇所や共感された部分がそれぞれ違って興味深かった。

色々な波紋が広がる中で、暫くした頃、呉市図書館の職員の方が訪ねて来られ、「本館と各支所にも置きたいので、8冊寄贈してほしい」

という申し出は意外だった。

というのが、今まで行政や公立のものは、特定の寺院や宗教的なものに対して必要以上に神経質で、排除されても歓迎される事はなかったように思うから。

そんな訳でちょっと驚いたが、市立図書館に収蔵して頂けるのは願っても無いことなので、もちろん快諾した。

また、音訳ボランティアの方から連絡があって、眼の見えにくい人や高齢の方に本を朗読録音して贈る、という活動があることを知った。

「それに使わせてほしい」

という申し出で、この件も快諾した。

数多ある本の中から「春夏秋冬」を選んで頂いたのは、筆者としてはとても嬉しいこと。録音されたものが届くのを楽しみにしている。

(4)

水面に一つの石を投げると次第に波紋が広がる。今回もそれを大いに楽しませて頂いた。まだ余波も続いている。

そんな中で私の不手際なのだが、参考にした書籍からの引用を明記するべきなのに、忘れていた箇所が一カ所ある。

「タコ坊主とカキ坊主」の冒頭の(1)は、外山滋比古著「人生を愉しむ知的時間術」からのほぼ引用であった。

言い訳になるが十数年前、中四国の浄土宗僧侶達が集まったある研修会のパネラーを依頼されたことがある。その時、話す資料の一つとしてメモカードに外山氏の一文を書き写して持参したのだった。

そしてこの度、その時の資料を参考に「タコ坊主とカキ坊主」を書いたが、そのメモカードに外山氏の一文であることを書き留めていなかったため、迂闊にもそのまま使ってしまったというお粗末である。まったく恥ずかしい。

また、校正は何度も重ねたがルビの間違いを見落としていた。77ページの「転重軽受」は「てんじゅうきょうじゅう」と読むのが正しい。

他にも見落としがあるかも分からない。誠に不十分なものだが、仏教や正覚寺に更に関心を持って下さる縁の一つになれば良いと思ってる。



いらごいらえ
一期一会

好きな言葉の一つである。一生に一度しかない出会い、生涯に二度と巡って来ない目の前のひと時を大切にしたいと思う。
浄土宗の数珠は、絵のように二つの輪が交差して二連になっています。

今年もよろしく
お願い申し上げます
平成二十五年 元旦

謹賀新年

3年前から、正覚寺だより「スジャータ」の発行日を元旦に改め、年頭の賀状も兼ねさせて頂くことにしました。全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。

修正会と新年互礼会

日時／平成25年1月14日(祝) 朝11時より

毎年、新春を祝う会を行っています。今年はサックスの生演奏、景品の当たるゲームも行います。ご遠慮なくお申し込み下さい。

- 場 所／正覚寺本堂
- 会 費／3,500円(お弁当代他)
- 申し込み／1月10日までに電話などで



総本山知恩院

高齢者招待祝賀会

日時／平成25年4月18日(木)

- 場 所／総本山知恩院
- 招待者／昭和8年生まれの方と同伴者1名
- 申し込み／2月末日までに正覚寺へ
- その他／交通費は各自でご負担下さい。



今年80歳を迎える方々、どうぞご参加ください。

ご出席の方には詳しい案内状をお送りします。尚、当日出席出来なくても、申し込みの方には記念品をお届けします。

5年ぶりの 短期集中仏教講座

ご じゅう そう でん 五重相伝

平成25年10月23日(水)から
5日間・朝8時～夕方4時まで
(最終日は昼2時頃まで)



●前回(H20年)の参加者

五重相伝は浄土宗にしかない法要で、仏教の教えを親しみやすく順序立てて説明していく講座です。具体的な内容は、

- ①分かりやすい連続法話を聴く
- ②一緒にお経を読む
- ③お念仏を称える
- ④礼拝をする
- ⑤親しい人のご回向をする
- ⑥剃度(おかみそり)の作法をうける

⑦袈裟や戒名をうける

など盛り沢山です。

浄土宗の檀家の方には、時間を作って生涯に一度は参加して頂くべき講座です。自分自身を見つめ直す良い機会になると思います。

詳しい案内状は5月にお届けする予定です。

“AED 救命講習会” 昨秋10月5日(金)に開催されました!!

本堂に AED を常設しました。昨今、駅や公共施設などにも設置されていますが、使い方が分からなければ無駄になります。

そこで檀家の皆さまや近所の方々にも声をかけ、総勢37名での講習会となりました。(株)トウモロさんのご協力、日赤救急法指導員の指導のもと、マネキンと AED を使ってその使用方法を体験しました。



汗をかきながらの約2時間、熱心に研修しましたので実際に使用出来る自信が湧いてきました。



『参拝旅行』昨秋10月22日(月)から 1泊2日でお参りました!!

いつもより参加者の少ない今年の旅行でしたが、その特徴をいかしたコンパクトで小回りのきく良い旅ができました。

讃岐の法然上人ゆかりの3ヶ寺ではゆっくりお参りし、2日目はアートの直島で普段とは異質なものに色々触れ、とても新鮮な感覚を味わいました。



総本山知恩院 国宝大殿「御影堂」 創建以来約380年 初の解体修理

地方の寺院で言えば本堂にあたる国宝の大殿、つまり法然上人が祀られている御影堂の解体修理が一昨年より始まった。1639年に徳川三代将軍家光公によって建てられた間口45メートル、奥行き35メートル、高さ28メートルにも及ぶ壮麗な木造建築である。

こんな本格的な修復は建立以来初めてのことで、総数10万枚といわれる屋根瓦を葺き替えるほか、骨組みだけを残して解体修理する。

国宝の三門、集会堂しゅえどうなど他の建造物の補修、宿泊施設である和順会館の新築工事、参道整備等はずでに竣工しているので、この大殿が耐震性、安全性を向上して創建当時の偉容を現せば、法然上人800年大遠忌記念事業がすべて終了することになる。

平成31年の予定である。



●着工前の大殿(御影堂)



●奥：解体修理のため大殿を覆う素屋根
手前：修理の終わった集会堂と仮設建物

感謝録

それぞれご法事を勤めるにあたり寄附して下さいました。正覚寺維持のために大切に使用させて頂きます。誠に有り難うございました。



春のお彼岸

3月20日(祝) ■ 朝10時より

ご先祖の供養と法話、どうぞご家族でお参り下さい。

平成25年 年回表

平成25年の法事は下記の表の様になります。
参考にして各家の位碑などを調べて下さい。

1 周忌	平成 24 年 亡
3 回忌	平成 23 年 亡
7 回忌	平成 19 年 亡
13 回忌	平成 13 年 亡
17 回忌	平成 9 年 亡
23 回忌	平成 3 年 亡
(25 回忌	平成 元年 亡)
27 回忌	昭和 62 年 亡
33 回忌	昭和 56 年 亡
37 回忌	昭和 52 年 亡
50 回忌	昭和 39 年 亡

正覚寺ホームページ 呉市 正覚寺 検索

今年の主な行事案内

写経の会	毎月 1 日	13:30より
念仏の会	毎月14日	13:30より
新年互礼会	1月14日(月)	11:00より
春彼岸会	3月20日(祝)	10:00より
大掃除	6月1日(土)	9:00より
盆棚経法要	7月21日(日)	9:00より
盆施餓鬼会	8月15日(木)	9:00より
秋彼岸会	9月23日(祝)	10:00より
五重相伝	10月23日(水)	から5日間
十夜法要	11月16日(土)	10:00より



●念仏の会の時に繰る大念珠

あ と が き

- ぜひ五重相伝にご参加下さい。長い人生のうちの僅か5日間です。
- 少しでも若い時に参加されるのが良いと思います。
- 今後の人生を歩む時、必ず支えになるはずです。
- 五重相伝を5年ごとに定期的を開催することは、寺と住職にとっても中々容易なことではありません。
- 私をはじめ寺族一同が健康で、今回も開催出来るだろうことに大いに感謝しております。
- 選挙結果がどうであれ、みんなが協力し合って良い日本になることを誰もが願っているはずです。
- 世の中同様、それぞれのご家庭、人生にも解決すべき問題があるかもしれません。一步一步前進して行きましょう。
- 昨年、正月8日に師父である先代住職が亡くなりましたので、年頭のご挨拶は失礼するべきですが、寺だより「スジャータ」は正覚寺の寺報ですので、例年通り年賀の形式で新春にお届けさせて頂きました。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754 口座名／浄土宗正覚寺